

奥州市版SDGsについて



2021年11月 奥州市

奥州市版SDGsについて

1 目的

2015年9月に「持続可能な開発のための2030アジェンダ」として国連総会の全会一致で採択されたSDGsについて、市が実施する施策についても、17の持続可能な開発目標をそれぞれの分野における取組との関連を踏まえ、持続可能な社会の実現に向け、多様な主体においてそれぞれ連携・協働による取組を進めます。

SDGsは世界的な取組であり、地域ごとに取組むべき課題が異なるとともに、解釈も人それぞれであるため、関係者の共通理解を図る必要があると考えます。

このことから、こどもからお年寄りまで、SDGsをより身近なものと捉え、市民がひとつとなってSDGsに資する取組を推進していけるよう、SDGsに市の特徴を取り入れるなど、なじみやすいものとした「奥州市版のSDGs」を作成しました。

【イメージ図】



2 策定の経過

- (1) 第2回総合計画策定庁内ワーキンググループ会議（2021年5月28日開催）にて、SDGsの概要について学習
講師：環境学習交流センター
- (2) 複数の参考書をもとにSDGsの解釈一覧表を作成
- (3) 第3回総合計画策定庁内ワーキンググループ会議（2021年8月30日開催）にて、(2)の解釈一覧表をもとに、奥州市環境市民会議 奥州めぐみネットにアドバイザーとしてご協力をいただき、総合計画の施策とSDGsの17のゴールの関連性を確認
また、ワーキンググループ員にて奥州市版SDGsにおけるキャッチフレーズ案及び奥州市版SDGsのアイコンのイメージ（構成要素など）を検討
- (4) (3)の奥州市版キャッチフレーズ案などをもとに、奥州市版SDGsの17のアイコン案を作成

※奥州市版SDGs作成のための“解釈一覧”やオリジナルアイコンなどは、庁内で職員が作成

3 奥州市版SDGsの今後の活用について

- (1) 市の各種計画等の推進において、奥州市版SDGsを意識した取組を進め、SDGsに対する職員の理解を深めてまいります。
- (2) 市の将来を担う世代や協働の担い手、連携企業などの多様な主体からの意見を取り入れながら、奥州市版SDGsの普及や具体的な活用策を検討し、推進してまいります。

Oshu SDGs

<p>1 共に生きる社会の実現を</p> 	<p>2 おいしいと安全を届けよう</p> 	<p>3 心身の健康としあわせをみんなに</p> 	<p>4 自由に学べる環境をみんなに</p> 	<p>5 お互いを尊重し合おう</p> 	<p>6 きれいな水を今も未来も</p> 
<p>7 豊かな自然を大切なエネルギーに</p> 	<p>8 働きがいのあるまちをつくらう</p> 	<p>9 先端技術を活用できるまちを目指そう</p> 	<p>10 市民に公平なまちづくり</p> 	<p>11 安心と魅力のあるまちづくり</p> 	<p>12 丸ごと余さず使うまちづくり</p> 
<p>13 気候変動にしなやかなまちづくり</p> 	<p>14 きれいな北上川を維持しよう</p> 	<p>15 豊かな森を守ろう</p> 	<p>16 誰もが安心・安全を感じられる社会</p> 	<p>17 みんなが「つながる」まちづくり</p> 	